



拳ノ川小学校

『生きる力と自主性・主体性の育成』

校長 文野 友喜

【はつめい】

黒潮町教育委員会より、今年度から再び2年間(文部科学省指定を入れて7年目)の「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」の指定を受け、保護者・地域住民に学校運営に参画していただき、学校・家庭・地域が一体となったよりよい教育の実現と、地域に信頼される開かれた学校づくりをめざして取り組みを進めています。

【学校教育目標】

『確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳のこども』
重点目標として、「児童の自主性・主体性の育成」に取り組んでいます。

【学力の向上】

◆校内研修の充実
研究主題を「生き生きと取

り組み、ともに学ぶ子どもを育てる」聞くことを大切にしながら表現し合う授業づくりを通して」とし、全教員が授業公開を行っています。併せて積極的に外部講師を招へいし、教材研究ならびに授業研究を行い、「めあて」「学び合い」「まとめ」を重視した本校の授業スタンダードに沿った複式授業の研究を進めています。何よりも日々の授業を大切にし、積み上げていくことが学力の定着を図ることにつながると考えて取り組んでいます。

◆学力の定着・向上

基礎基本の確実な定着をめざした「基礎学力タイム(読書・計算・漢字の各10分間)」を校時表に位置づけて取り組んでいます。さらに、今年度は30分間の「パーフェクトタイム」を設け、全校児童を3教室に分けて異学年での計算プリント学習を行っています。また「こぶしの時間」では、プリントを中心とした習熟、発展、活用の問題などにも取り組み、学力の定着・向上を図っています。

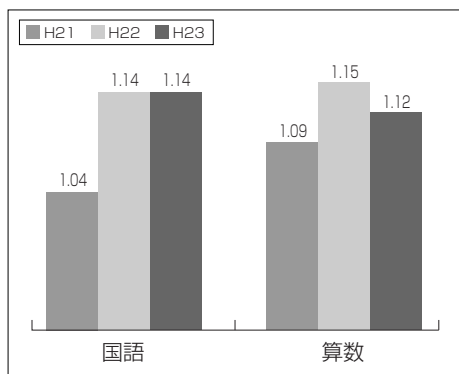
◆読書の充実

読書は、全ての学力の基礎

となるものと押さえ、本校では、毎朝10分間の朝読書に取り組んでいます。また、家庭での20分間読書をPTAの取り組みとして3年前から行っています。さらに、一昨年度からは読書環境づくりの一環として、教職員や児童による読み聞かせにも取り組んでいます。その成果は、児童の図書利用度や読書量の増加にも見られています。

◆学力調査の活用

左のグラフは、ここ3年間の標準学力調査の全校期待正答率通過率の結果です。



今後は、学年ごとの課題を明確にし、課題に関わる単元の授業公開を行うなど、課題解決を図るとともに基本的な生活習慣の確立なども含め、日々

の取り組みの充実を図りながら改善に努めていきます。

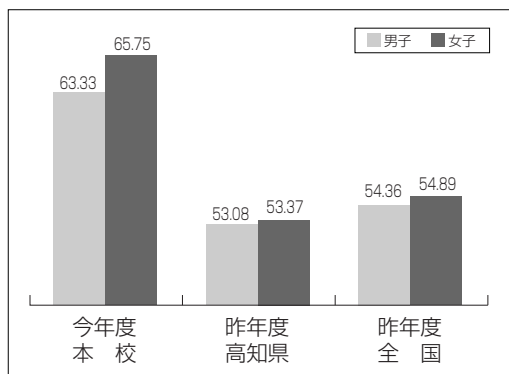
【豊かな心の育成】

人権教育や道徳教育を中心として、自然や人とのかわかりを通して、自らを律し人と協調し、人を思いやる心や感動する心、生命や人権を尊重する心、正義感や公正さを重んじる心などを育み、自己肯定感や自尊心を高めていくために、綴り方集会やコミュニティ活動などの取り組みを進めています。

【体力の向上】

◆体力・運動能力調査結果

左のグラフは、今年度実施した5年生男子3名、女子4名の体力・運動能力調査の平均総合得点の結果です。



今後も「朝マラソン」や体育の時間の「5分間体力アップ運動」などに取り組み、さらに体力・運動能力の向上を図ります。

【コミュニティ活動】

計画の段階から保護者や地域の方が参画し、拳ノ川小学校ならではの豊かな教育活動や体験活動の創造をめざし、
★自然・環境コミュニティ
★健康・福祉コミュニティ
★学び・文化コミュニティ
の3つのコミュニティ委員会の組織しています。地域の人材活用や教材化を図りながら、年間を通して学校・地域・保護者が一体となった「準備から後始末まで一連の活動」を合言葉にコミュニティ活動を行っています。



ウナギはえなわ漁の体験

三浦小学校

『豊かさたくましさをもち
活力のある児童の育成』

校長 田邊 誠郎

【はじめに】

本校は1年生9人、2年生8人、3年生11人、4年生5人、5年生13人、6年生7人、つくし学級1人の児童数54人、7学級編制の学校です。

【学校教育目標】

人権尊重を基盤に、自ら学び豊かさたくましさを持つ子どもを育てる。

知豊かな学力を持つ子ども
徳豊かな人間性のある子ども
体たくましい心と体を持つ子ども

【校内研究（こころ）】

研究主題

「主体的な学習活動をめざして、よく聞き、よく考え、ゆたかに表現する力を育てる。」
全国的に国語力に課題があることが報じられています。

本校でも学習の基礎である、聞く力・書く力・発表する力に取り組んできており、児童朝礼での発表や学習発表会などでその成果も表れてきています。

しかし、学力テストの結果から、読む能力や書く能力に課題があることが判明しています。

そこで、説明文を中心に、国語力の向上に取り組むことが必要と考えられます。

算数科においては、数学的な考えや図形・数量関係などに課題も見られますが、基礎タイムやがんばりっ子「基礎学力定着の時間」での取り組みによりスキルの向上が見られます。

教科を中心しながら、信頼しあえる生活集団や学びあう学習集団づくりも学級・学校経営の中で構築することが大切と考えます。

◆具体的な取組

- ①児童に分かる授業の工夫と改善を行っていく。
- ②支え励まし合える学習集団を育てる。
- ③家庭学習の充実と定着を図る。家庭学習の手引きを活用
- 低学年 30分以上
- 中学年 45分以上
- 高学年 60分以上
- ④国語力の育成

読み取る力の育成
聞く力の育成
書く力の育成
発表（表現）する力の育成
以上の4項目について具体的な指導を行っていく。

⑤学習の到達目標を設定して指導を行う。

算数・国語定着8〜9割を目標に徹底指導を行っていく。
⑥がんばりっこ基礎タイムの実施
朝読書を15分間実施し習慣化していく。

5校時前10分間算数の基礎スキルの実施で定着を図る。

⑦学力検査の分析と活用

◆こころの教育

- ①道徳教育の推進
- ②人権教育の推進
- ③読書の推進
- ④正しいことばづかいの推進
- ⑤生活集団づくりの推進
- ⑥特別支援教育の推進
- ◆基本的な生活習慣の育成
- ①すすんで返事・あいさつ・お礼の推進
- ②心をこめて掃除や作業を行う。
- ③早ね・早起き・朝ごはんの推進
- ◆豊かな体験活動と交流学習の推進
- ①人・事・物・産業・文化などと

②総合的な学習時間の活用
【学力について】
今年度の標準学力検査では、国語・算数とも全国平均・期待正答率にほぼ達成しています。

		2年	3年	4年	5年	6年
国語	本校	91	88	84	70	73
	全国平均	84	75	69	70	69
	期待正答	81	76	71	68	70
算数	本校	96	92	82	71	83
	全国平均	89	79	74	75	74
	期待正答	81	73	69	71	71

【開かれた学校づくり】

学校・家庭・地域社会がそれぞれ役割を果たしながら相互に連携し、地域ぐるみで子どもたちの教育に取り組む

ことを目的に、「三浦の子どもを育てる会」を設立し活動を行っています。

5月に総会を行い、3月にまとめの会を実施します。

12月に世代間交流（昔遊び・地域の食材を生かした料理など）を地域の方と共に行います。

その他、月の1日は保護者が交通安全指導を行い、10日・20日は職員で行います。地域の方々も協力してくれています。この3日間は集団徒歩通学を行っており、全員がそろってから登校してきます。

また、児童会が中心になり月の5日と15日は2箇所でありさつ運動を行っています。そして、学校に来ると職員室にあいさつをして学級へと移動しています。

このようなさまざまな取り組みが地域を元気づけ、心豊かで明るいあいさつのできる児童に育っていく役割を担ってくれているのではないかと考えます。

